



巻頭言

「with コロナ」時代でも図書館は特別な空間

秋田大学附属図書館長 山本浩史



本年度から附属図書館長に任命された医学系研究科の山本浩史と申します。北海道出身で2001年に秋田大学に赴任し、心臓血管外科の診療を兼務しております。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

ところで私と図書館の関わりは、中学3年生の時分(約50年前)に札幌の某中学校で生徒会の図書常任委員長として頑張った記憶があります。当時は書架から本を選び、受付で裏表紙のポケットに収納された図書貸出カードに氏名を記載し、それを預けて本を借り出すという方法でした。電子的な操作は全くない時代で、大学卒業後でもこの形式にしばらく変化はありませんでした。1980年代中頃からCDが普及し始め、それとともにコンピューターの記録媒体がフロッピーディスクからHDやCDに変化して行きました。1989年に英国に留学した折、大学の附属図書館に抄録検索が可能なMedlineのCD-ROMが使えました。それで必要な文献を探してから、雑誌をコピー機で複写をするということをしておりました。1992年に帰国した後も同様な方法が続き、前世紀末まではそのような手間は回避できず、閉館時刻まで文献探しをしていた記憶があります。

私の基本的な研究スタイルは、今でも日中の仕事(大学病院勤務)が終わると、研究の時間を作って学会準備、論文執筆、興味のある文献を読むという日常です。文献探しは必然的に夕方以降になります。以前、大学の研究室には、独自に購入した雑誌を書架に並べており、すぐに文献が見つかる時もありますが、そうでない時もありました。「どうしても知りたい、解決したい問題」に気付くと、何が何でも図書館に行って文献を探し、その場で速読してまた文献を探したものです。この図書館通いは私にとって様々な人生経験の場でした。難題が解決し心地よくなることもあれば、解決策が見つからず不完全燃焼で気持ちの入れ直しが必要になることもありました。多分今でもそうなると思います。図書館は静かで厳粛かつ知的な雰囲気がありますが、特に夜は静寂感に覆われ、考えることに集中できる空間となります。一つの文献から他の文献を探し出しながら書架間の通路(道)を歩き回る間に新しいアイデアが生まれてくることもあります。京都には「哲学の道」がありますが、全国の図書館には「思考の道」があるのです。

現在は便利な時代になりました。学術雑誌の発行形態が電子化し、過去の文献も電子媒体に変換されたため、自分の机に居ながらにして大量の情報入手が可能。昨今のコロナ時代では、考える暇もないほど情報過多(混乱)に拍車がかかりました。これから到来するであろう「withコロナ」の時代には、机を離れ、図書館に行って「思考の道」を歩くのが新しいアイデアを生む「New Normal」かもしれません。

Contents

新館長 巻頭言：「with コロナ」時代でも図書館は特別な空間	1
新任教員の皆様へ / 新1年生の皆様へ	2
デジタルギャラリー / 電子リソース	3
図書館からのお知らせ / 編集後記	4

新任教員の皆様へ

～利用者カード・公費コピーカード申請のすすめ！～

4月から勤務することになった教員のみなさん、ようこそ秋田大学へ！

これからの研究活動に役立てていただきたい下記2つのカードをご紹介します。

最初に申請いただきたいカードは、「**利用者カード**」です。このカードを持っていないと、図書館の利用や図書の購入依頼などができません。「**公費コピーカード**」は公費の予算があれば申請可能です。

ぜひこれらのカードを申請して、図書館をご活用ください。不明な点は図書館職員へお尋ねください。



入館できる / 図書・雑誌の貸出ができる
学外から文献複写を取り寄せることができる
学外から図書を取り寄せることができる
研究費での図書購入依頼



図書館所蔵の資料を公費でコピーできる
※コピーカードの受付・発行は中央図書館のみ



※利用者カードの申請は、所属する地区の図書館サービスデスクで承ります。

手形地区…中央図書館 / 本道地区…医学図書館

新1年生の
みなさん

MyLibraryにログインして 附属図書館を使いこなそう！

秋田大学附属図書館では、My Libraryという一人一人が利用できる個人ページを用意しています。

例えば、来館せずにWeb上で、いま借りている資料の延長手続きができます。前日に返却期限を知らせるメールが届きますので、図書館からメールが届いたらMy Libraryを確認してみましょう。

※メールアドレスは「個人設定」から変更可能です。

My Libraryでできること

- ・貸出期間の延長
- ・貸出中資料の予約
- ・貸出履歴の確認
- ・新着資料の確認
- ・学外から（文献複写／図書）を取り寄せ
- ・リモートレファレンス（オンライン相談）
- ・ブックマーク …等

これらの機能は
ログインをしないと
利用できません。

リモートレファレンス案内

クイックレファレンス

予約不要

5分程度で回答可能な、簡単な質問を受付

30分レファレンス

長めの質問ができます

事前に予約が必要です

My Libraryログイン方法

①図書館HPの赤丸で囲った部分または下記のQRコードからログイン画面に進んでください。



PCの場合



スマートフォンの場合



②a-netと同じID・パスワードを入力してください。

③各種サービスが利用可能です。

※図書館内のPCなど不特定多数の人が使用する端末でログインした後は、必ずログアウトしてください。

詳しくはこちら (<https://www.lib.akita-u.ac.jp/top/ja/node/277>)から



図書館の使い方分からないことがありましたら、お気軽にメール・電話・リモートレファレンス等でお尋ねください！

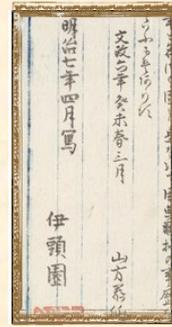
秋田県関係準貴重書20点のデジタル画像を公開しました

「[秋田大学貴重資料デジタルギャラリー](#)」にて附属図書館の所蔵する準貴重書のうち秋田県にゆかりのある和装本20点を公開しました。

大半が秋田県師範学校から移管されたもので、鷹巣村の肝煎役を長く務めた成田元長の旧蔵書や秋田藩士石井忠行（号伊頭園）が書写した本などを含みます。多くがWebでは初公開の資料となりますので郷土研究等にお役立てください。



『秋藩紀年』



明治7年に伊頭園（石井忠行）が写す

追加資料

- 『秋藩記年』
- 『秋藩紀年』
- 『東堤先生隨筆』 卷之1
- 『直養雜話』 1、2
- 『東堤隨筆』 1、2
- 『菁莪雅言』
- 『義和公六郡御巡覽道記』
- 『御引渡御回坐御由来:全』
- 『政景日記抜書』
- 『軍功書上扣』
- 『秋田軍記 2巻』
- 『秋田畧記』
- 『秋田藩事蹟集』 1～5
- 『秋田前賢史談』

『秋田畧記』



漢字にルビが振られている

学外から利用可能な電子リソース

図書館では、学外から利用可能な電子リソースを提供しています。電子ジャーナルや電子ブック等を場所や時間を問わず利用できます。

■ アクセス方法

図書館ホームページ→「学外から利用可能な電子リソース」をクリック



<学外からアクセス可能な電子リソース> ※学内者限定
 新型コロナウイルス感染防止のため、図書館では利用を制限しておりますが、学外から各種電子リソースをご利用いただけます。授業や研究・自宅での学習などにぜひご活用ください。
 電子ブックのご案内：検索は [こちら](#)
 ◎電子ブック関係のお知らせ (3/2更新)
 ▼電子ブックリクエストセンターへお問い合わせ
 電子ジャーナルのご案内：検索は [こちら](#)
 【各種検索ツール】(分野別リンク)
 ●総合 ●自然科学・工学 ●人文・社会科学 ●医学・生命科学
 【電子リソース、学外から利用方法】
 検索ツール等に「学外から利用可能」されている電子リソースは、学認へログイン後にご利用可能です。
 利用方法の案内 [こちら](#)
 ※秋田大学構成機関の電子リソースを利用するため、データベース等は必ず図書館HP経由でアクセスしてください。

「こちら」をクリック

いつでも・どこでも
在宅学修にも使える！



<https://www.lib.akita-u.ac.jp/top/ja/node/64>

■ 電子ジャーナルとは

学術雑誌を電子化してweb上で読めるようにしたもの。学術雑誌に収録されている論文をOPAC（蔵書検索）で検索することはできないので、分野、言語に適した「データベース」を選択して検索します。

CiNii Research	国内の全分野の学術論文を検索できる。 ※CiNii ArticlesはCiNii Researchへ統合されました。
SCOPUS	世界の全分野の学術論文の検索、抄録の閲覧ができる。
医中誌Web	国内の医学・看護学・薬学等の学術論文を検索できる。【同時アクセス数9】の制限あり。

■ 電子ブックとは

図書を電子化してweb上で読めるようにしたもの。OPAC（蔵書検索）でも検索することができます。各タイトルは同時に1人しかアクセスできませんので、利用が終わりましたら必ずログアウトしてください。

KinoDen	日本の学術図書が利用できる。ブラウザだけでなく、アプリからも利用できる。
Maruzen eBook Library	日本の学術図書、就活本や英語多読用リーダーが利用できる。
メディカルオンラインイーブックス	医学系和図書が利用できる。

図書館からのお知らせ

朝日新聞データベース「聞蔵Ⅱ」が「朝日新聞クロスサーチ」に名称変更

朝日新聞の記事を検索・閲覧できるデータベース「聞蔵Ⅱ」の名称が「朝日新聞クロスサーチ」に変更されました。画面デザインが一新され、スマートフォンでも使いやすく、横断検索機能も強化されています。a・net/AU-CISでお知らせしている臨時IDにより、学外からも利用が可能です。



「個人向けデジタル化資料送信サービス」が開始されます(5/19~)

国立国会図書館では資料のデジタル化を進めており、このうちの一部については全国各地の図書館でも閲覧・印刷が可能です。本学では中央図書館1階に閲覧用のPCを設置しております。

この度、著作権法が改正され、このデジタル化資料送信サービスが各自のPC・スマートフォンでも利用できることになりました。

詳しくはこちらをご参照ください。



https://www.ndl.go.jp/jp/news/fy2021/220201_01.html

国内文献の検索は「CiNii Research」をご利用ください

国内文献検索データベース「CiNii Articles」が「CiNii Research」へ統合されます。これにより、論文検索は「CiNii Research」に一本化されます。「CiNii Research」では、このほかにも「CiNii Books」「CiNii Dissertations」や外部連携機関の研究データ、KAKENの研究プロジェクト情報などを横断検索することができます。

この影響で、現在OPACでの国内論文検索機能を停止しています。論文をお探しの場合は、直接CiNii Research等の論文検索データベースをご利用ください。



CiNii Research

本学教職員等 著作寄贈図書

本学教員が著し、寄贈いただいた資料です。
中央図書館2階秋田大学コーナーへ配架しています。

書名	著者名	著者記号
メディアと帝国 19世紀末アメリカ文化学	村上東(教育文化学部)先生自著 (分担執筆)	361.5 Ts52

編集後記

コロナ禍になって3度目の春を迎えました。今年の冬は例年より雪が多く寒かったので、雪解けが待ち遠しかったです。暖かくなると何か始めてみようという気持ちが起きますが、皆さんは何か始めようと計画していることはありませんか？

新年度となり、図書館を初めて利用する方もいらっしゃると思います。通常の図書館利用をしていただける状況まで、もう少しかかりそうですが、学外から電子リソースをご利用することができますので学修にどうぞご活用ください。

秋田大学附属図書館 Library News しゅうと! 

No. 20 令和4年 4月 13日 発行

編集・発行 ■ 秋田大学附属図書館

〒010-8502 秋田市手形学園町1-1

中央図書館

TEL : 018-889-2279

FAX : 018-832-4917

MAIL : libriyo@jimu.akita-u.ac.jp

医学図書館

TEL : 018-884-6052

FAX : 018-884-6252

MAIL : ibun@jimu.akita-u.ac.jp